

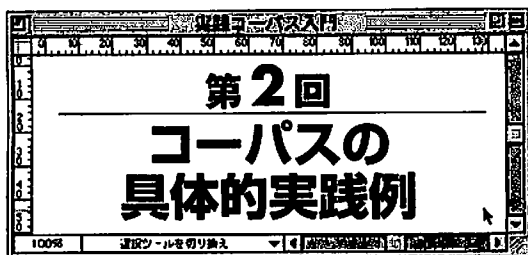
投野式
実践

コーパス入門

公開! 授業に生きる活用術



明海大学 外国語学部教授 投野 由紀夫



はじめに

今回はコーパスが英語教育にどのような形で利用されているかを、特に「間接的な利用」を中心に、辞書制作、学習語彙表、語法・文法書、そして英会話教材といった分野に関して紹介した。その際にも述べたことであるが、現在、コーパス利用であまり実践されていないのは「コーパスの授業への直接利用」である。そこで今回から、コーパスを直接授業に活用している先生方の具体的実践例を取材して紹介していきたい。その中で、指導上の工夫や効果、準備や実施上のポイントや注意点、将来に向けての課題などを整理してみる。

今回紹介するのは東京大学教育学部附属中等教育学校の三浦邦彦先生の実践。三浦先生は私がNHKで「100語」を始める前から私の主催するコーパス・ワークショップに勉強に来られていて、コーパスを用いた授業実践の経験はかなり豊富な方である。そこで三浦先生にまずはコーパスを授業に取り入れようとした理由や動機について伺ってみた。



コーパスを授業に生かそうとした理由は?

投野：三浦先生は私のNHKの番組などを活用して、コーパス情報を授業に取り入れています。 「コーパス」に注目された理由は何でしょうか?



三浦：教科書を別な観点から教えることはできないだろうか、また学習者が英語という「ことば」を学ぶ際に「ことば」の使用に着目し興味関心を深めてもらえたらという願いからです。また、学習者の自ら英語を学ぶ姿勢を養うことができるのではないかと考えました。もう一つは、教科書で使用されている表現をベースにしつつ、教科書での語彙使用と実際に英語の母語話者が使用している語彙の使用傾向に着目し、「ことば」の使用感覚をつかんでほしいと考えたからです。

教育実践に工夫をこらしている先生ならば誰でも「教科書だけでは物足りない」と思っているだろう。三浦先生の場合は、教科書+αの部分でコーパスでどう料理できるか工夫されているわけだ。特に、「教科書の英語」から「生きた英語」、「実際のことばの使用感覚」に橋渡しする材料としてコーパスを位置づけている点が卓見だ。「学習者の自ら学ぶ姿勢」という点も、自立学習 (autonomous learning) という分野で今注目を集めているところだが、コーパスでそれをどう実現できるかという問題意識も大変興味深い。



三浦先生の授業の工夫

では次にどのような指導をされているのか実際の事例をきいてみた。

2 授野：具体的に中学レベルではどのような指導をなさっているのでしょうか？

A 三浦：中学2年の授業でNHK「100語でスタート!英会話」のビデオを授業開始10分間で視聴し、コーバスランキングを紹介するとともに例文を覚えさせて、次の授業で確認していくという方法をとったことがあります。

現在中学3年の授業においては教科書で扱われている語彙を一つ抽出し、コーバスランキングと例文を提示して例文を通してキーワードに関する使用頻度の高いコロケーションに焦点をあて語感を養うように心がけています。

三浦先生の実際に使用されたワークシートを拝見した。これは私がNHK「100語」のキーワードを1冊にまとめた「コーバス練習帳」(NHK出版)に掲載されているキーワードとランキング+例文を使ったものである。このようにコーバス・データそのものにアクセスできなくとも、コーバスからの情報をうまくまとめた学習参考書やテキストがあれば、それを活用するという手もある。

100語でスタート! 英会話

Keyword No. [45] Keyword [turn]
Corpus Ranking

1 You want to go to [and / left / turn / end / off / block / the]. [.]
1 2 3 4 5 6 7

2 [right / turn]? [. . .]
1 2

3 [immediately / right / turn / after] the elementary school. [. . . .]
1 2 3 4

4 [should / off / you / turn] your mobile phone in a hospital. [. . . .]
1 2 3 4

5 One day [up / turned / at / he] the police station. [. . . .]
1 2 3 4

2 9 B D R 6 [] Score []

turn + [] []

1
2
3
4
5

a. over
b. right / left
c. over
d. up
e. around

このプリントは「turn + 副詞」の使い方のランキングを導入した後のテスト用だそう。ランキングそのものを再現させることで「副詞」の整理をさせる効果があるし、例文は並べ替え式で、単なる暗記ではないから生徒への負担も少ない。こういったテストを毎回作るのは大変だろうが、一度ワンセット作ってしまえば毎年使い回しができるはずだ。

別に「100語」全部をやらなくてもいい。今年は基礎が弱いので基本動詞だけやろう、とか、今年は会話でまとまった話を作らせたいから接続詞のセットを強調して練習しよう、といった風に自分流キーワードセットを作って指導すればいいのだ。

CARD A
L3-2 Kumi Visits China

TASK 1 ペアオーディオを聞いて () に語句を置く。
A ⇒ B Dear friends,
Today Ist went to the Beijing opera, Journey to the West.
B ⇒ A I fun () a kabuki () in Japan ().
A ⇒ B Both the kabuki play and the opera used beautiful costumes.
B ⇒ A But this opera was very () from the kabuki.
A ⇒ B The dancers of the opera were more active.
B ⇒ A And the music was more ().
A ⇒ B I haven't bought your presents yet.
B ⇒ A Does anyone want an opera () ?
Your friend,
Kumi

TASK 2 1分間で読むことができた語数を記録する。
第1回 [] words

TASK 3 自説をして空印を3つ付ける。
☆☆☆ ⇒ 第2回 [] words

TASK 4 下線部の意味を日本語で書く。
1. _____
2. _____
3. _____

TASK 5 ☆ go to + 2.24

日	go to + 2.24	Your answer	日	文
1				It's time to go to () .
2				I have to go to () now.
3				What time do you go to () ?
4				I don't feel like going to () today.
5				My mother goes to () on Sunday.

TASK 6 本文中の一つの単語をキーワードとしてマッピングを作成する。
⇒ journey

こちらは教科書のレッスンと運動した形の使用法。教科書本文を作業させるワークシートの中にさりげなく「go to + 名詞」のコーバス・ランキングを入れて、注意を喚起している。「100語」の素材を教科書の基本語提示にうまく活用している例だ。


ポイント
教科書とコーバス・データを上手にからめる

50分の授業で教科書と並行してすでに習っている基本語の使い方をより深く教える、というのは時間的に大変ではあるが、大いに意味のあることだと思う。まず「基本語」は英語力の基礎になる。最もよく使われる100語で話し言葉データの67%をカバーするという統計がある。それだけ使用頻度も高く、用法も複雑なのだ。でも、通常の英語授業では新出事項の導入ばかりに目が行って、定着を促す指導がおろそかになる。すでに知っている、と思える基本語の用法は実は多岐に渡り深い。年間計画の中で、上手に基本語の深化・定着を促進する観点を入れたい。

もう1つはそのくらの時間は案外取れる、ということだ。授業参観に行って50分の授業を観察していると、間延びして無駄がある部分が結構多い。だらだら訳さしていたり、ゲーム活動と称して英語を話している時間は案外少なく、生徒達はゲーム中に早めに切り上げて日

本語でだべっていたりする。そんな授業をするくらいならば、50分の授業を5～10分ごとにコーナーに分割して、次々と異なる活動をさせるような授業があってもいい。その1コーナーにこの「基本語彙の活用練習」を組み込めば、語彙指導的には有効に違いない。

「100語」や「コーパス練習帳」にはこれら基本語のコーパスからのランキング、例文と日本語訳が掲載されている。素材はすでにプロの目で加工済みだ。問題は、どう練習させるか、である。そこで、三浦先生のようにランキングの推測をゲーム的に行いつつ、コロケーション・ランキングを反映した英文をいろいろなモードで練習させるような工夫をしていければ、私が提供した教材ももっと活きるだろう。



ポイント
コーパスを使って基本語彙の習熟を常に意識した指導を



生のコーパス・データからの情報を活かす

Q 投野：コーパス・データを実際にどういう風に「見せる」あるいは「提示する」ようにされているのでしょうか？

A 三浦：中学2年における新出文型である不定詞を利用しての表現活動(スピーチ)発表の際に、コーパスデータを活用し英語の母語話者の特徴的な不定詞の使用例をコーパス分析ソフトで分析した結果を教材化しプリント教材として提示し自己表現活動に活用できることを紹介しました。コーパスデータを利用することにより、幅広い表現が実際のスピーチにおいて取り入れられていたことはコーパスの教育的利用の成果であったと思います。

高校1年生を担当したときは、BNC (British National Corpus) のデータを活用してみました。新出文型を含むコンコーダンスラインを教材化してプリント教材として提示し、学習者に新出文型における特徴的な使用傾向を把握させるという活動をグループ学習で取り入れてみました。

「コーパス練習帳」のような加工された素材を利用する以外に、コーパス・データを必要な時に自分で調べて生徒に提示する工夫もされているようだ。例えば、to 不定詞の場合、後ろによく来る動詞は以下のようになる：

to + 動詞の原形 Top 5

1 be 2 do 3 get 4 go 5 have

これらのリストを拡張し、10～20くらいの動詞を選んで、それに簡単な使用例を添えて文を書くように指導するだけで、to 不定詞を用いた表現の幅が広がるかもしれない。高校1年に提示した、というBNCからの例文のプリントも拝見した。

- 次の()に入る共通する英語を書き、各英文の意味を書く。
 He () us that he expected to be posted to the front at some time in the next few weeks but
 She () us that "her sister had lost her home and all that it contained in the December tragedy . and
 Our teacher() us that frogs toot
 The men () us that "the area was dangerous , that robbers used to hide in the mango tree at the
 She () us that she had made several visits to the London Zoo and so was familiar with the
- 次の英文を読み、気づいたことを日本語で説明する。
 I must inform you that "you will never be allowed to enter this house again , and that if you do n't
 Just to inform you that Gavin and I are meeting en route to the Soton game this weekend .
 I must inform you that the same department are about to close the only respite centre (Astley House
 He'll inform you that "the King has been very kind to you , and that you 're lucky to lose only you'
 I must inform you that I know full well the delicate details of your personal relationship with the
 I refer to your recent application for the above position and am pleased to inform you that you have been
 selected for interview .
 I am pleased to inform you that a place has been reserved for you on the above course .
 I am sorry to inform you that hair that splits excessively probably won't grow much longer .
 I am sorry to inform you that we no longer carry a stock of the spare parts you require .
 I am sorry to inform you that your application for the post of ... has been unsuccessful .
 this Council and write to inform you that you have been included in the list of candidates who are to
 be invited for a
 and regret to inform you that on this occasion you have been unsuccessful .
 And I must inform you that you are not welcome — not welcome at all !
 and therefore must inform you that the council holds you responsible for the costs of repairs arising from this
 I would be able to inform you that I have already negotiated just such a deal for you .
 on behalf of the fire service to inform you that should the fire alarm sound , you are required to leave the
 After careful consideration I regret to inform you that you have been unsuccessful .
 I write to inform you that Mr Forsyth has accepted the Scottish Sports Council 's view that the system
 I write to inform you that the appeal is to be heard at the above address on
 I write to inform you that the above appeal is to be heard on
 and I have to inform you that your appeal was unsuccessful .
 I have to inform you that this street will be evacuated this afternoon between nineteen and twenty hun
 I turned the switch and I regret to inform you that out of the loudspeaker came a lot of old Irishmen singing
 I want to inform you that "I have decided to establish the " World Day of the Sick
 therefore , I have to inform you that we are not in a position to offer you employment in any research division
 but I regret to inform you that the appeal has not been allowed and you should sign for the tenancy at the !
 I consider it necessary to inform you that I have no intention of doing so immediately .
 It is my duty to inform you that your father is very dangerously ill .
 It pleases me to inform you that the weather here continues to be temperate !

新しく導入する文型(ここでは「動詞十目的語+that節」)の特徴を大量のコンコーダンスラインから読み取らせるような工夫だ。ここではBNCから直接例文を取ってきている。確かに英語そのものは難しすぎるだろう。しかし、ポイントは英文の意味を理解させるのではなく、inform us that のような並びが頻出する、というinformの後ろの語順やパターンに気がつかせることだ。このようにデータをまず示し、そのデータの特徴から発見学習的に構文を提示するようなやり方も面白い。専門的にはこのような「データルール」という帰納的な提示方法を「データ駆動型学習(DDL: Data Driven Learning)」

という。すべての提示方法においてDDLがいいというわけではないが、言葉の感覚を研ぎ澄ませるという意味でも適宜利用するといいい導入方法だ。



ポイント

DDL は学習者に「英語の使用ルール」を気づかせるのが目的



**コーバスの種類に応じた
使い分け**



投野：中学から高校にかけての指導で、コーバス・データの使い方に何か違いは出てきますか？



三浦：中学段階ではコーバスの活用は難しいということが考えられるかと思いますが、工夫次第でコーバスを有効に活用することが可能であると思います。長期的視野に立った語彙指導を行うに際しても、教科書コーバスや学習者コーバスを構築し活用することによって幅広い語彙学習を効率的に実施できると思います。また、新出文型の導入や定着させるための言語活動として授業に取り入れていくこともできると思います。中学段階では特に発達段階や学習者のレベルを考慮しながらコーバスデータを上手に利用していく配慮が必要であるように思われます。

高校段階においても、意識的に日頃からジャンル別にコーバスの構築を進めておくとオーセンティック教材として、また、語彙や文型の特徴的な使用をコンコダンスラインから読み取るという中学段階から少し進んだコーバス利用の学習が可能ではないかと思っています。

この三浦先生のコメントから特徴的なのは、目的に応じてコーバスを使い分けているという点である。中学生にはあまり難易度の高い生の英語を見せるのは避けて、教科書データをコーバス化したり、学習者コーバス（生徒の英作文やスピーチなどをコーバス化したもの）を活用したりする。また高校ではもう少し生の英語に触れさせる機会を増やしてやる、など、その学習段階に必要な最適データは何か？を考えながら指導することが大切だ。



ポイント

コーバスは1つではない。
レベル・目的に応じて使い分けること



**コーバスを使う
教育効果や課題**



投野：生徒は先生のコーバスを使った授業にどう反応しますか？



三浦：「100語でスタート英会話」を活用した授業は中学生にとっても好評でした。コーバスランキングを通して、これまでとは異なった観点で「ことば」について捉え、意欲的に英語学習に取り組めるようになってきていると思います。コーバスを活用した授業に最初は戸惑いながらも少しずつ自立した学習姿勢が見られるようになってきたと思います。



投野：最後に現場の先生としてコーバス利用での課題は？



三浦：現場の教員にとって実際にコーバスを構築・分析し、さらに授業に活用するという作業は多くの時間と労力を伴うものだと思います。共同研究としてデータの構築や教材開発が今後進み、コーバスの教育的利用についての実践報告等の機会が増えていくようになればよいと思います。

三浦先生のクラスではコーバス・データの活用に試行錯誤をしながらも、徐々に自分なりの活用の仕方が見えてきて、生徒にもそれが伝わっていく、というプロセスがあったようである。最後のコーバスデータ作りの大変さは現場の先生にとっては切実だろう。この点に関しては、我々研究者の側が中高の先生と共同して、授業で使えるデータをしっかり作っていくということが大事だと再認識させられた。

三浦先生、これからも頑張ってください！



コーバス・ランキングを使った三浦先生の授業風景